

日本人対象

重要

2027 年度
大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻
修士課程入学試験における 10 月入学希望者に対する注意事項

東京大学大学院工学系研究科
航空宇宙工学専攻

1. 2027 年度大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻の修士課程入学試験において、2026 年 10 月入学を希望する者は、特に次の点に留意して出願を決めること。

出願後の入学時期の変更（10 月から 4 月へ、又は 4 月から 10 月へ）は、いかなる理由があっても認められない。

2026 年 10 月入学の学生の受け入れが可能な指導教員は、2026 年 4 月現在別表の教員に限られる。本専攻入試案内書教員一覧表に記載された教員全員が受け入れ可能ではない点に留意すること。

2. 2026 年 10 月入学を希望する学生は、添付の調査票に指導志望教員名を第 1 希望から第 5 希望まで記入の上、出願期間中（2026 年 5 月 29 日（金）～6 月 4 日（木））に、航空宇宙工学専攻事務室に Email で提出すること（koku@office-aero.t.u-tokyo.ac.jp）。

備考

表中、所属欄の航空宇宙は本専攻の専任教員（本郷）、特任教員（本郷）、先学際は先端学際工学専攻、新領域は新領域創成科学研究科、先端研は先端科学技術研究センター、宇宙研は宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究所の略である。

以上

2026 年 4 月現在

修士課程 10 月入学者受け入れ可能教員

所 属	職 名	氏 名	専 門 分 野
航空宇宙	教 授	岩 崎 晃	宇宙利用工学・地球観測
〃	教 授	小 紫 公 也	電気推進・先端推進・電磁エネルギーシステム
〃	教 授	寺 本 進	回転機械・内部流体力学・数値流体力学
〃	教 授	土 屋 武 司	航空機力学・制御工学・宇宙輸送システム
〃	教 授	今 村 太 郎	航空流体力学・数値流体力学・計算空力音響学
〃	教 授	横 関 智 弘	複合材料構造力学
〃	教 授	小 泉 宏 之	宇宙推進工学・プラズマ工学
〃	准教授	柳 澤 大 地	流体力学・セルオートマトンの応用
〃	准教授	樋 口 諒	複合材料力学・計算力学
〃	准教授	藤 川 貴 弘	航空機の力学と制御・最適化・将来宇宙輸送システム
〃	講 師	赤 嶺 政 仁	実験流体力学・空力音響学
〃	准教授(特任)	L u X i n	計算力学、数値構造解析
新領域	教 授	上 西 幸 司	材料力学・衝撃工学
〃	〃	酒 井 武 治	極超音速・高温気体力学・数値流体力学
先学際	教 授	矢 入 健 久	宇宙システムの知能化・機械学習
宇宙研	教授(委嘱)	峯 杉 賢 治	飛翔体構造工学
〃	教授(委嘱)	西 山 和 孝	電気推進
〃	教授(委嘱)	野 中 聡	ロケットの空気力学・宇宙輸送システム
〃	教授(委嘱)	津 田 雄 一	宇宙機システム・軌道力学・宇宙航行力学

日本人対象

重要

指導教員希望調査票（修士課程 10 月入学希望者）

東京大学大学院工学系研究科
航空宇宙工学専攻

本調査票は、10 月入学希望の受験者全員が記入し、出願期間中（2026 年 5 月 29 日（金）～6 月 4 日（木））に、航空宇宙工学専攻事務室へ Email で提出すること（koku@office-aero.t.u-tokyo.ac.jp）。

連絡先は、8 月 31 日（月）から 9 月 4 日（金）までの間、確実に連絡が取れる連絡先を必ず記入すること。

連絡先（住所、宿泊先名等）：		電話： [昼] (携帯も可) [夜]
フリガナ 氏名：		受験番号：
出身大学：	大学 学部 学科	在学中 卒業（ 年 月）
指導志望教員（5 名を記入）		志望研究分野（カッコ内に順位を記入）
順位	教員氏名	A グループ () (流体力学，高速空気力学関係)
1		B グループ () (構造，材料関係)
2		C グループ () (制御，飛行力学関係)
3		D グループ () (推進，原動機関係)
4		
5		
特に限定しない場合にチェック【 】		特に限定しない場合にチェック【 】
右欄の志望研究分野と志望研究場所の情報は、指導教員決定のための参考として使用する。		志望研究場所（カッコ内に順位を記入）
		本郷 () 新領域（柏） () 宇宙研 () 先端研（駒場） ()
		特に限定しない場合にチェック【 】